

学校教育を効果的に進める学校施設・設備の改善 ～活用・保全の具体的方策を考える～

I はじめに

研究の初年度である昨年度は、「児童・生徒が一日の大半を過ごす学校は、教育活動を行うため基本となる場所であり、学校施設・設備の改善は、教育活動の効果を高める上で極めて重要である。」と捉え、テーマを「学校教育を効果的に進める学校施設・設備の改善」、サブテーマを「現状の把握と課題の設定」として研究をスタートさせた。18校の状況を調査し、甲州市における実態の把握、課題の集約を行った。その結果を、文部科学省より示された「学校施設整備の基的方針」に照らしてみるなどして、①学校 LAN の整備、教師一人一台パソコンによる学校事務の効率化、②不審者の侵入に対する防犯上の課題、③校舎内のバリアフリー対策・地域の防災拠点としての役割等の課題がみられた。しかし、学校施設・整備については、基本的には行政と関わりが大きく学校の裁量で改善できる部分は限られている。

本年度は、研究の2年目であるので、テーマは昨年度のものを引き継ぎながら、サブテーマを「具体的方策を考える」とし、学校施設・設備の活用・保全について、運営の側面から見直し、具体的な方策を考え、改善につなげていきたいと考えた。

研究の具体的な内容と方法については、昨年度の調査結果を受けながら、学校施設・設備に関して学校として工夫出来ること、学校間で協力できること、行政に要望していくこと等を明らかにし、具体的な一歩として少しでも進展させていきたいと考えた。また、構成メンバーが多いので、小グループに分かれて調査・研究を進めることで、施設・設備に関していろいろな面から改善が図られるようにもしたいと考えた。

II 研究のねらい

学校施設・設備の活用・保全について運営の側面から見直し、具体的な方策を考えることで、学校施設・設備の改善を図り、効果的に学校教育が進められるようにする。

III 研究内容

1 施設・設備の活用・保全，開放に関すること

- (1) 大型機器・機械等の活用・問題・課題
- (2) プールの管理（点検，修繕，維持管理の方法等）
- (3) 学校の施設・設備全般の管理

2 防災及び避難場所としての施設・設備に関すること

- (1) 地域の緊急避難場所としての学校の役割…マニュアル作り
- (2) 広域安全マップ（児童生徒用）作成と活用

3 学校事故に関すること

- (1) 学校事故防止
- (2) プールにおける水の事故
- (3) 安全点検をより確かなものに
- (4) 遊具の点検
- (5) 消火器

IV 研究のまとめと今後の課題

(1) 教育研究集会の話し合いから

施設・設備や点検の状況、修繕費の問題などの情報交換が行われた。どこにも、たくさんの課題があり、行政に要求したいことも多数あることがわかった。その中で、子どもたちの安心・安全を第一に、優先順位をつけていくこと、点検をしっかりと行い、その資料をもとに行政に要求すること、地域住民・教育三者などとの協力、学校関係者評価で施設・設備面を評価してもらうことなどの有効性が話し合われた。また、遊具などの理想的な設置基準、安全基準も教頭として知っておく必要があり、使い方の問題による危険等は、指導していく必要があるという意見も出された。大変参考になる話し合いとなった。

(2) 成果と課題

今年度、3グループに分かれて研究を進めたことで、全員が、主体的に研究に関わることが出来た。研究内容は、情報交換を中心に行ったので、施設・設備、遊具・安全等に関する情報を全員で共有することができ、各校の対応の仕方など大変参考になった。避難所運営マニュアルづくりは、先進校のものを参考にしながら甲州市各校が共通に運用できるものができた。

反面、施設・設備等に関する課題の解決には、予算が大きく関わる。行政にどのように要望していくか、具体的な行動に起こしていくことが求められる。避難所運営マニュアルについては、各校の実態に合うものにしていくこと、教職員の役割に無理がないか、行政との分担を確認するなどして、さらに、実効性のあるものにしていくことが必要となる。

研究3年次となる来年度の研究の方向性については、今年度の研究を引き継ぎ、その成果を学校運営に生かし、その様子を交流するなどしてさらに研究を深めていきたいと考えている。

(研究部長 瀧澤美佐子)